



ニュース

第20号

2010年11月25日発行
トップス広島 事務局

〒733-0036

広島市西区観音新町4-10-2

広島西飛行場ターミナルビル1F

TEL; 082-233-3233 FAX; 082-233-3251

URL; www.tops-h.net

加盟団体

- ・サンフレッチェ広島
- ・JTサンダース
- ・湧永製菓
- ・広島メイプルレッズ
- ・広島ガスバドミントン部
- ・NTT西日本広島
- ・ソフトテニスクラブ
- ・中国電力陸上競技部
- ・コカ・コーラウエスト
- ・レッドスパークスホッケー部
- ・広島東洋カープ

ニュース



300人Vへハッパ



プレミアム開幕で激励会

Vプレミアリーグ開幕を控えたJT激励会が24日、広島市内のホテルで開かれ、約300人が熱いエールを送った。久保新監督が「28試合を戦いながら成長する姿を見せたい」と初優勝へ向け力強く決意を表明、大きな拍手を浴びた。

今季のJTはサマーリーグ、国体を制覇。リーグでも5年ぶりの決勝ラウンド進出が期待されている。リーグは12月4日開幕。地元初戦は来年1月15日、グリーンアリーナで豊田合成と対戦する。

マエケン8冠



《ドラフト指名選手》

- ①福井 優也 投手; 早大
- ②中村 恭平 投手; 富士大
- ③岩見 優輝 投手; 大阪ガス
- ④金丸 将也 投手; 東海理化
- ⑤磯村 嘉孝 捕手; 中京大中京高
- ⑥中崎 翔太 投手; 日南学園高
- ⑦弦本 悠希 投手; 四国・九州IL徳島

《育成ドラフト指名選手》

- ①山野 恭介 投手; 明豊高
- ②池ノ内亮介 投手; 中京学院大

前田健太が8冠一。投手3冠を射止めたあと最優秀投手、バッテリー賞に続き沢村賞とゴールドングラブ賞。そしてベストナインにも選ばれた。



沢村賞は今季

最も活躍した先発完投型投手に送られるもので前田は初めて選ばれた。カープでは1991年の佐々岡真司がい19年ぶり6人目(7度目)

ゴールドングラブ賞はほかに梵、広瀬、赤松が選出された。4人受賞はリーグ優勝の84年、86年に次ぎ24年ぶり3度目となった。

ドラフト

即戦力投手に重点

ドラフトでカープは1位で大石達也(早大)の抽選に敗れたが、同じ早大の福井優也を外れ1位で獲得したほか4位までを大学・社会人の即戦力投手を指名した。福井は愛媛・済美高出身で04年選抜優勝投手。

沢村賞 ベストナインも



アジア大会壮行会

激励に込める

アジア大会に出場の男子の中堀・高川、女子の佐々木・大庭、女子監督の中本監督の壮行会が4日、市内のホテルで開かれ、関係者ら約280人が詰めかけ激励した。

両ペアとも10月の全日本選手権で優勝をっており「金メダル」を誓った。

(左から) 中本監督、佐々木、大庭、高川、中堀の各選手



池田・岩崎がV井ノ口杯全国大会

井ノ口杯全国大会は3日、福山市の竹ヶ端運動公園庭球場などで開かれた。

男子決勝はNTT西日本広島勢同士の対決となり、接戦の末に池田・岩崎が4-3で館越・原を下した。

女子は佐々木・大庭、塔田・前道が3位、榎本・堀越は準々決勝で敗退した。また、熊鳥・水間、三好・伊東はいずれも3回戦で涙をのんだ。

来月、地元で2試合



日本リーグ再開

アジア大会のため中断していた日本リーグ男子は12月4日再開、湧永製菓は4日に大同特殊鋼、11日にトヨタ紡織九州といずれも中区スポーツセンターで2試合を行う。当面のライバルとなる相手との対決。4強入りへここをすっきり勝利して勢いに乗りたい。

日本リーグが中断中のメイプルレッズは19日から3日間、東区スポーツセンターで強化キャンプを行った。参加はリーグ6チームに香川銀行、来年度国体を控える徳山クラブ。総当たりリーグで4~5試合戦った。

メイプルレッズは5試合で3勝2敗だったが、若手にとってはまたとない実戦練習となったようだ。



強化キャンプ 戦力アップ

アジア大会 速報

団体金複は銅

ソフトテニス女子 佐々木・大庭

中国・広州で開催中のアジア大会でソフトテニス女子が団体が金メダルを獲得した。決勝で台湾と対戦した日本は1-1のあと金メダルを第2ダブルスの佐々木・大庭が託され、期待に応えて見事5-2で勝利した。男子団体の中堀・高川は同じ台湾に接戦の末敗れ銀メダルだった。

ダブルスは男子の中堀・高川、女子の佐々木・大庭が準決勝に進出したが、いずれも韓国ペアに屈し「銅」に終わった。

ホッケー女子はロンドン五輪出場権をかけて臨んだが、主将の駒沢がアゴのケガでコートに立てず、小野も足の調子が悪く健闘したが、中国、韓国に敗れ3位。あと一歩で「ロンドン」を逃がし、12年春の世界予選に出場権をかけることになった。

ニューイヤーに夢乗せ 中国電力 14 連覇

中国電力 陸上競技部 全日本実業団駅伝（ニューイヤー駅伝、群馬県前橋市）の予選を兼ねた第49回中国実業団駅伝は14日、世羅嵩を発着点とする7区間、82.8kmのコースで行われ、中国電力が14年連続15度目の優勝を「完全」で飾った。

中盤区間に石川卓哉（明大出）森本卓司（神奈川大出）米澤類（青学大出）の3新人を据え、前後を伊達秀晃と岡本直己のエース格を配した磐石の布陣で臨んだ中国電力は、1区からトップに立ち、一度も首位を譲らず2位以下に大差をつけ、4時間4分57秒でテープを切った。

大会優秀選手には6区で区間2位に3分以上の差をつける快走を見せた岡本直己が選ばれた。ニューイヤー駅伝には、今大会4位までが出場する。

県実業団駅伝も快走、3連覇

県実業団駅伝は10月24日に岡山県岡山市の笠岡陸上競技場発着の6区間、35.62kmで行われ、中国電力は2時間13分23秒で3年連続14度目の優勝を飾った。

1区は5位スタートとなったが、3区石川卓哉が3位に順位を上げたあと4区の田中宏樹がトップに引き上げ、5区岡本直己の区間新などでトップでゴールした。4区から4連続区間賞の快走だった。

中国実業団駅伝

- ①中国電力4時間 4分57秒
 - ②JFEスチール4時間 13分58秒
 - ③マツダ4時間 14分34秒
 - ④中電工4時間 18分55秒
 - ⑤自衛隊米子4時間 32分38秒
 - ⑥自衛隊山口4時間 36分32秒
 - ⑦日新製鋼4時間 38分37秒
 - ⑧ホンザキ電機4時間 41分40秒
 - ⑨東洋鋼板4時間 56分15秒
 - ⑩三菱重工広島4時間 57分34秒
 - ⑪広島市役所5時間 1分59秒
 - 岡山県選抜4時間 44分49秒
- （注）岡山県選抜はオープン参加

中国電力区間別記録

- ▽1区（12.0km）藤森 憲秀 36分10秒
- ▽2区（8.2km）伊達 秀晃 23分37秒
- ▽3区（12.7km）石川 卓哉 37分35秒
- ▽4区（8.5km）森本 卓司 24分31秒
- ▽5区（10.0km）米澤 類 30分20秒
- ▽6区（17.9km）岡本 直己 52分56秒
- ▽7区（13.5km）田中 宏樹 39分48秒

県実業団駅伝 区間別記録

- ▽1区（5.75km）森本 卓司 16分45秒
- ▽2区（6.60km）藤森 憲秀 19分41秒
- ▽3区（11.12km）石川 卓哉 32分39秒
- ▽4区（6.60km）田中 宏樹 19分4秒
- ▽5区（9.86km）岡本 直己 28分35秒
- ▽6区（5.69km）米澤 類 16分39秒



ナビスコ杯決勝

▽決勝

- 1-1
- 1-1
- 広島3 延長 5 磐田
- 1-2
- 0-1

ナビスコカップ決勝は3日、東京・国立競技場で行われ、サンフレッチェは延長の末敗れ、1994年第1ステージ優勝以来のタイトルはならなかった。サンフレは2-1の後半ロスタイム直前に失点。延長でも前半連続失点、槇野がFKを直接決めて意地を見せたが、後半にも前田にゴールを奪われ、突き放された。栄冠に手をかけていただけに悔しい敗戦となった。

ニューヒーロー賞

高萩が受賞

ナビスコカップニューヒーロー賞をMF高萩次郎が受賞した。ユース時代の03年4月、当時のJ最年少記録となる16歳8カ月3日でデビュー。同年11月、クラブ初の高校生プロに。06年、J2愛媛に移籍、復帰の翌年J2降格を経験した。ナビスコ杯では全5試合にフル出場、1得点、1アシストを記録した。

Jリーグは残り2試合となった。サンフレッチェは現在13勝9分け10敗、勝ち点48で7位につけている。

2年連続ACL出場を目指したが清水に敗れ4位以内が消え、出場はならなかった。

今季はACL出場、ナビスコ杯決勝進出と、クラブとして新しい歴史をつくった。来季へ向けチームは進化を続けている。残り2試合の踏ん張りが楽しみだ。

サンフレ あと一歩

夢無残

ACL消える

J残り2試合

1部復帰へ光 日本リーグ2部V

バドミントンの日本リーグ2部は21日から3日間、山口県光市総合体育館で開かれ、広島ガスは7戦全勝で7年ぶり2度目の優勝を飾った。来年2月27日に1部最下位との入れ替え戦（東京）に臨み、08年以來の1部復帰を目指す。

6戦全勝で臨んだ三菱電機との最終戦。シングルスは落としたが、早川・小池、橋本・前田がダブルスを制し、2-1で勝った。

【広島ガス成績】

- 2-1百十四銀行、○2-1日立化成、○3-0北国銀行、○3-0トヨタ自動車、○2-1三洋電機CE、○3-0JR北海道、○2-1三菱電機

▽順位 ①広島ガス7勝2敗②三菱電機5勝2敗③三洋電機CE5勝2敗④日立化成4勝3敗⑤北国銀行3勝4敗⑥JR北海道2勝5敗⑦トヨタ自動車1勝6敗⑧百十四銀行1勝6敗（2、3位はマッチ率、7、8位はポイント率による）



平和マラソン参加、ファンと交流

トッパス加盟5団体・27選手

ひろしま平和マラソンは3日、コカ・コーラウエスト広島スタジアムを主会場に行われ、湧永製薬、広島メイプルレッズ、NTT西日本広島、中国電力、広島カーブの27選手が参加、尾方選手がゲストラナーを務めたほか10kmや5kmコースを走り大会を盛り上げた。レース後のトークショーでは尾方選手らが集まったファンと交流した。また、選手のサイン入りシャツや色紙などが当たる抽選会もあった。

《日本選手権日程》

- 9日 立命大 9.30
- 10日 グラクソ 9.30
- 11日 東海学院大 13.10
- 12日 決勝

来月9日から

全日本選手権

シーズン最後の大舞台、全日本選手権が12月9日から4日間、岡山県赤磐市の熊山運動公園多目的広場などで開かれる。社会人、学生各4位までが日本一をかけて激突する。コカ・コーラウエストは予選リーグB組で、グラクソ・スミスクライン、東海学院大、立命大とまず対戦。1位がA組1位と決勝を戦う。4度目の出場のコカ・コーラ、悲願の初優勝が期待される。

悲願の初優勝へ集大成

ロゴマークの意味

広島県の木、広島県の花として県民になじみの深いモミジをモチーフにしました。「新緑のモミジ」はジュニアスポーツの育成を、「紅葉のモミジ」は選手が成長していく姿を表現しています。

ジュニア選手がトップを目標とすることを期待し、広島県のスポーツのジャンプアップを図ることを意味しています。

